平成 25 年 3 月 25 日

各　　位

会 社 名　日本アジアグループ株式会社
代表者名　代表取締役社長　　呉　文　繍
（コード番号 3751　東証マザーズ）
問合せ先　取締役経営企画本部長　　渡邉　和伸
TEL（03）-4476-8000（代表）

北海道 5 か所における太陽光発電所で プロジェクトファイナンスによる開発資金を調達いたしました

グリーン・コミュニティの実現を目指し、国内外でメガソーラー発電所の開発に注力する日本アジアグループ株式会社（コード：3751、本社：東京都千代田区、代表取締役社長：呉 文 繍、以下「日本アジアグループ」）傘下で、太陽光発電事業などの開発・運営を行う JAG 国際エナジー株式会社（以下「JAG国際エナジー」）は、北海道道東地域（釧路・十勝地区）の5か所に建設する発電出力合計が約5．5メガワットの大規模太陽光発電所（メガソーラー）に対し、プロジェクトファイナンスによる資金調達を行いました。今回のプロジェクトファイナンスは、株式会社新生銀行（本社：東京都中央区、代表取締役社長：当麻　茂樹）がアレンジし、建設にかかる費用のうち約 16 億円を調達するものです。新生銀行のほか三菱 UFJリース株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：白石　正）が参加いたします。

本プロジェクトは、スポンサーである JAG 国際エナジーが釧路・十勝地区に5ヵ所の太陽光発電所を建設するもので、平成24年9月を皮切りに5ヵ所の発電所建設を着工し、平成25年3月から順次商業運転を開始いたします。本格稼動後、発電する電力は、平成24年7月に施行された「電気事業者による再生可能エネルギー電気の調達に関する特別措置法」に基づく電力受給契約により、20年間にわたって全量を固定価格にて北海道電力株式会社に売電いたします。

日本アジアグループは、メガソーラー事業において欧州4カ国24ヵ所で太陽光発電所を開発・運営する他、国内では宮崎県児湯郡都農町の「宮崎ソーラーウェイ」の開発など、多くの開発実績を有しています。今回 JAG 国際エナジーがメガソーラーを建設する北海道釧路・十勝地区は日照時間が比較的多く、道内では降雪量の少ない地域の一つであることなどから、新生銀行において、本件事業の採算性は十分に見込まれると評価されました。

これまでメガソーラーへのファイナンスはコーポレートローンが中心でしたが、本件は返済原資をプロジェクトからのキャッシュフローに限定したプロジェクトファイナンスによる国内メガソーラープロジェクトへのファイナンスであり、2009年からスタートした日本アジアグループの太陽光発電事業の実績、太陽光発電事業における調査・建設・資金調達・保守維持というワンストップでサポートする技術力に加え、本太陽光発電所開発プロジェクトの事業計画を評価いただき、このような先駆的なスキームが実現したと考えています。

日本アジアグループは再生可能エネルギーの固定価格買取制度のもとメガソーラー発電所の開発に向け、これまでの実績により培った技術とノウハウを活用し、地域特性にあわせた太陽光発電所の開発を行ってまいります。

なお、今後業績予想修正の必要性及び公表すべき事項が生じた場合には、改めて速やかにお知らせいたします。

【プロジェクトの概要】

事業名称	:	北海道メガソーラー運営プロジェクト
事業用地	:	北海道道東地域（釧路・十勝地区）
発電所数	:	5ヵ所
発電出力	:	約5．5メガワット
事業期間	:	20年
商業運転開始	:	平成25年3月

【融資契約の概要】

貸付人	:	株式会社新生銀行（アレンジャー）、三菱 UFJ リース株式会社
融資金額	:	ローン総額 約16億円
契約締結日	:	平成25年3月14日

【JAG国際エナジー株式会社について】

名称	:	JAG 国際エナジー株式会社
代表者	:	代表取締役社長 木村 泰宏
本社所在地	:	東京都千代田区六番町2番地
事業内容	:	再生可能エネルギー発電施設の開発・運営及びコンサルティング
設立	:	平成24年3月
資本金	:	85百万円
株主	:	日本アジアグループ株式会社 100％

以上